

# 国土交通委員会

## 委員一覧 (25名)

委員長	田名部 匡代 (※)	金子 原二郎 (自民)	浜口 誠 (※)
理事	朝日 健太郎 (自民)	清水 真人 (自民)	森屋 隆 (※)
理事	酒井 庸行 (自民)	高橋 はるみ (自民)	里見 隆治 (公明)
理事	増子 輝彦 (※)	鶴保 庸介 (自民)	宮崎 勝 (公明)
理事	伊藤 孝江 (公明)	豊田 俊郎 (自民)	室井 邦彦 (維新)
理事	武田 良介 (共産)	和田 政宗 (自民)	木村 英子 (れ新)
	足立 敏之 (自民)	小沢 雅仁 (※)	— 欠員1名 —
	青木 一彦 (自民)	長浜 博行 (※)	
	岩本 剛人 (自民)	野田 国義 (※)	(元. 10. 24 現在)

※ 立憲・国民・新緑風会・社民

## (1) 審議概観

第200回国会において本委員会に付託された法律案は、内閣提出1件であり、これを可決した。

また、本委員会付託の請願2種類2件は、いずれも保留とした。

### 〔法律案の審査〕

**港湾** 港湾法の一部を改正する法律案は、鹿島港（茨城県）における洋上風力発電の導入に係る取組等を視察するとともに、洋上風力発電導入の意義及び課題、発電事業に係る港湾施設の貸付け及び貸付方法の在り方、国際基幹航路の維持又は拡大のための方策等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

### 〔国政調査〕

10月24日、国土交通行政の諸施策について、赤羽国土交通大臣から説明を聴取した。

11月5日、質疑を行い、令和元年台風第19号による河川の被害状況及び河川整備における事前防災の重要性、台風第19

号襲来時におけるダムの洪水調節の実施状況及び効果、気候変動に対応した治水対策の在り方、被災者の生活と生業の再建に向けた対策の内容、災害対応の担い手である地域の建設産業・自動車運送業等の現況、防災対策を担う国土交通省職員の増員及び大規模な公共事業予算の確保、台風第19号による浸水被害が拡大した原因及び災害時における情報提供の在り方、台風の被災地におけるグループ補助金も含めた中小企業支援策、ライドシェアの導入の是非及びタクシーの通常の運賃改定の早期実施、気象庁の緊急記者会見における手話通訳者の本格導入、災害時における公共交通機関間の運行情報の提供の在り方、台風第19号等で被災した鉄道の復旧・復興、九州新幹線西九州ルート of 整備、台風第19号等の被災地における高速道路の無料措置の適用対象の拡大の必要性、トラック運転者の労働環境の改善及びトラック運送業における取引適正化、一般会計から自動車安全特別会計への繰戻し状況と国土交通省の取組、高速道路の通行料金制度の見直しの必要

性、ハザードマップの改定及びマイ・タイムラインの普及促進、水位計や監視カメラの増設も含めた中小河川の治水対策、台風の被災地域における旅館業への支援及び旅行商品等の割引、共生社会の実現に向けた心のバリアフリー施策の更なる推進、無電柱化の推進、インフラシステムの海外展開におけるトップセールスの実績、バックウォーター現象に対応した治水対策の推進及び排水ポンプ車両数の増強、千曲川の堤防決壊の原因究明の必要性、長野新幹線車両センターで施工された盛り土が千曲川の洪水氾濫に与えた影響、リニア中央新幹線中央アルプストンネルの土砂崩落、災害時における障害者の避難を可能とする合理的配慮を踏まえた避難計画の策定、学校施設におけるバリアフリー化及び体育館への車椅子用トイレの設置の推進、多機能トイレの在り方などの諸問題が取り上げられた。

12月3日、質疑を行い、北海道における高規格幹線道路の重要性及び整備促進のための財源確保、J R北海道の経営改善の取組状況に関する国土交通省の認識、

一般会計から自動車安全特別会計への繰戻しを促進する必要性、償還期間及び想定金利水準の見直しによる高速道路料金引下げの必要性、自動車整備士不足の解消に向けた整備士の処遇改善の取組、令和元年台風第19号で被災した阿武隈急行の復旧及びその支援の在り方、気候変動を踏まえ耐越水化を重視した河川整備の必要性、自動車への車椅子の固定方法標準化に関する調査の現状及び実用化に向けた見解、自動車への衝突被害軽減ブレーキの装備義務化に関する検討状況、リニア中央新幹線静岡工区に係る協議の経緯及び国土交通省としての取組、中部横断自動車道（長坂・八千穂間）の整備計画におけるルート案の策定過程、新幹線利用の際の車椅子利用者に対する車椅子スペース提供の在り方、建築基準法の災害危険区域又は都市再生特別措置法の立地適正化計画の防災対策への活用などの諸問題が取り上げられた。

12月5日、令和元年台風第19号等に係る社会資本の被害状況等の実情調査のため、福島県及び宮城県に視察を行った。

## (2) 委員会経過

### ○令和元年10月24日(木) (第1回)

- 理事を選任した。
- 理事の辞任を許可し、補欠選任を行った。
- 国土の整備、交通政策の推進等に関する調査を行うことを決定した。
- 国土交通行政の諸施策に関する件について赤羽国土交通大臣から説明を聴いた。

### ○令和元年11月5日(火) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 気候変動に対応した治水対策の在り方に関する件、災害時における情報提供の在り方に関する件、令和元年台風第19号等で被災した鉄道の復旧・復興に関する件、九州新幹線西九

州ルートの整備に関する件、トラック運送業における取引適正化に関する件、マイ・タイムラインの普及促進に関する件、無電柱化の推進に関する件、リニア中央新幹線中央アルプストンネルの土砂崩落に関する件、多機能トイレの在り方に関する件等について赤羽国土交通大臣、青木国土交通副大臣、石原環境副大臣、松本経済産業副大臣、今井内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

足立敏之君(自民)、増子輝彦君(※)、長浜博行君(※)、野田国義君(※)、浜口誠

君（※）、宮崎勝君（公明）、室井邦彦君（維新）、武田良介君（共産）、木村英子君（れ新）

○令和元年11月21日（木）（第3回）

○港湾法の一部を改正する法律案（閣法第15号）（衆議院送付）について赤羽国土交通大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和元年11月28日（木）（第4回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。  
○港湾法の一部を改正する法律案（閣法第15号）（衆議院送付）について赤羽国土交通大臣、青木国土交通副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

朝日健太郎君（自民）、増子輝彦君（※）、小沢雅仁君（※）、森屋隆君（※）、伊藤孝江君（公明）、室井邦彦君（維新）、武田良介君（共産）、木村英子君（れ新）、上田清司君（無）

（閣法第15号）

賛成会派 自民、※、公明、維新、無（上田清司君）

反対会派 共産、れ新

なお、附帯決議を行った。

○令和元年12月3日（火）（第5回）

○理事の補欠選任を行った。  
○政府参考人の出席を求めることを決定した。  
○高規格幹線道路の整備促進に関する件、高速道路料金の在り方に関する件、令和元年台風第19号で被災した鉄道の復旧に関する件、気候変動に対応した治水対策の在り方に関する件、自動車への衝突被害軽減ブレーキの装備義務化に関する件、リニア中央新幹線静岡工区の事業円滑化に向けた取組に関する件、中部横断自動車道の整備における計画策定過程に関する件、新幹線利用における車椅子利用者への対応に関する件、立地適正化計画等を活用した防災対策に関する件等について赤羽国土交通大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

岩本剛人君（自民）、浜口誠君（※）、森屋

隆君（※）、小沢雅仁君（※）、里見隆治君（公明）、室井邦彦君（維新）、武田良介君（共産）、木村英子君（れ新）、上田清司君（無）

○令和元年12月9日（月）（第6回）

○請願第248号外1件を審査した。  
○国土の整備、交通政策の推進等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。  
○閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。